



病理診断科とは

最適な治療のためには正しい診断が必要です。診察、血液検査、CTや超音波(エコー)といった画像検査など各種検査をして診断がなされますが、その中でも病理診断は最終診断として重要な役割を果たしています。

《病理診断とは》

患者さんの身体から採取した細胞や組織を顕微鏡で観察し診断をすることです。腫瘍なのか腫瘍ではなく炎症などの病変なのか、腫瘍なら良性か悪性かなどを判断します。主治医はこれに基づき、どのような手術をするのか、どのような薬剤(抗癌剤など)を使うのか、放射線治療は効果がありそうかなど、治療方針を決定します。この病理診断をするのが病理医です。



《常勤病理医がいるメリット》

顕微鏡をみただけでは診断できない難しい病変やまれな病気の場合などは主治医と話し合いをして診断を絞り込んだり治療方針を考えたりしています。当院では毎週開催されている消化器や呼吸器の症例検討(カンファレンス)にも参加しています。

当院の場合、病理診断報告書の作成に通常1週間前後かかりますが、手術中の15分ほどで診断をすることもあります。体の深い部分にあって手術前に組織を取れず診断ができなかった病変が良性か悪性か、切り取った端(断端)に癌が残っていないか、リンパ節に転移が

ないかなどをみます。術中の病理診断によっては手術で切除する範囲が変わります。

《数が少ない病理専門医》

病理医は全医師の約0.5%と非常に少なく、病理専門医は全国で約2,500人しかいません。県内は15人です。通常は大学病院や一部の大病院に集中しており、どこの病院にもいるわけではありません。

《最適な治療のために》

患者さんと直接会うことがないため病理医の存在に気付かない方もいるのではと思われそうですが、より良い医療のため市立甲府病院 ONE TEAM(ワンチーム)の一員として日々の診療に貢献しています。



市立甲府病院病理診断科
宮田和幸ドクター
(社)日本病理学会 病理専門医

・平成5年信州大学医学部卒
・信州大学大学院(病理学)などを
経て現在、当院病理診断科部長

☎市立甲府病院…☎(244)1111

令和元年度「甲府市子育て応援優良事業者」を表彰!



☎子ども支援課…☎(237)5917

ワーク・ライフ・バランスの実現に向けて、子育てしやすい職場環境づくりに取り組む事業者を「甲府市子育て応援優良事業者」として、市長が表彰しました。市ではこれらの取り組みを広く市民の皆さんにお知らせすることで、子育て中の従業員の方が働きやすい社会になるように応援していきます。

株式会社 産業革新研究所

所在地：堀之内町840-1



【表彰理由】

- **子育てのライフスタイルに合わせた働き方の実施**
残業をしない体制や1日8時間のフレックスタイム制を行っているほか、状況によって、在宅勤務などのテレワークや短時間勤務を選ぶことができるなど、子育てしやすい職場環境の整備に取り組んでいる。
- **男性が子育ての制度や休暇を使うことを応援**
社内に向けた案内や研修会により、男性も利用できる子育ての制度(子どもが生まれる前後に取る休暇など)を周知し、利用の促進を図ることで、積極的に子育てを楽しむイクメンを応援している。

甲府市は、子育てしやすい職場環境づくりに取り組む事業者を応援しています。「甲府市子育て応援優良事業者」の募集は毎年7~8月に行っています。